

■南海貝塚駅周辺まちづくり基本計画(案)に対するパブリックコメント結果

募集期間：令和7年12月18日（木）から令和8年1月9日（金）まで

意見提出方法：郵送、ファックス、Eメール、都市計画課に直接持参

提出人数：計10名の方からご意見をいただきました。

お寄せいただいたご意見の概要と本市の考え方及び対応は下記のとおりです。

	ご意見の概要（本市要約）	本市の考え方	対応
1	<ul style="list-style-type: none"> この「南海貝塚駅周辺まちづくり基本計画」の策定は、現在策定作業中の上位計画である第6次貝塚市総合計画の最終的な策定を待っても良いのではないか。 新市長の方針次第では、南海貝塚駅の高架化の可能性もあり、その際には本計画を根本的に再検討する必要があることについて、但し書きなどを入れておく必要があるのではないか。 	<p>上位計画や市の方針が変更となる場合は、本計画は当然、必要に応じて変更しますので、但し書き等の追記は必要ないものと考えます。</p>	原案どおり
2	<ul style="list-style-type: none"> 貝塚市と地主との協議結果に違反する駅前広場の位置変更、規模拡張等は、違法である。 計画人口12万人から算定した駅勢圏人口、貝塚駅乗降客数等から見直す必要もなく、これを変更しようと企むことは違法であり、行政処分性がある許されない。 地元では、南海貝塚駅周辺まちづくり基本計画（案）策定に係る委託業務に法外な費用が掛かっているとの意見が出ている。 本駅前広場位置変更や規模拡張等の計画は、特定の個人地主に向けられた具体的な処分たる性質が認められるものであって異議がある。 	<p>現都市計画の決定から50年以上が経過し、その間には交通施設等におけるバリアフリーに関する法令や各種構造基準の改定等が行われているとともに、駅前広場への市民ニーズも変化しているため、社会情勢の変化等を踏まえた都市計画の見直しは必要であると考えており、今後地主をはじめとする関係者との協議を重ねつつ、具体的な駅前広場の将来像の検討を進めてまいります。</p>	原案どおり
3	<ul style="list-style-type: none"> 都市拠点の利便性・機能性及び防災性の向上を図るには、土地区画整理事業の実行を検討するべきである。 	<p>土地区画整理事業等は都市基盤整備を含むまちづくりの有効な手法ですが、本計画では駅周辺における課題解決のために、市が直接的に実施可能な駅前広場等の都市基盤施設の整備を優先することを想定しています。都市基盤施設の整備により、周辺の土地については、所有者等による利活用の促進が期待されるものと考えておりますが、整備後の周辺土地利用の進捗状況によっては、必要に応じて新たなまちづくりの方針を検討するものと考えております。</p>	原案どおり
	<ul style="list-style-type: none"> 「ウォーカブル」という用語は一般的でないため、その意味を説明する必要がある。 	<p>ご指摘のあった「ウォーカブル」も含め、一般的でない用語の解説を追記します。</p>	追記
	<ul style="list-style-type: none"> 交流拠点ゾーンについて、都市基盤施設の整備後は、賑わい創出ゾーンと同様の取り組みを行う旨の文章を追加するべきである。 	<p>整備後の交流拠点ゾーンにおいても、賑わいの創出は必要不可欠であると考えますが、本計画では駅周辺における課題解決のために、市が直接的に実施可能な駅前広場等の都市基盤施設の整備を優先することを想定しています。</p> <p>都市基盤施設の整備後の沿道の土地については、所有者等による利活用の促進が期待されるものと考えており、賑わいの創出に関する具体的な市の方針は本計画に基づく基盤施設整備の後、状況に応じて検討するものと考えております。</p>	原案どおり
4	<ul style="list-style-type: none"> 駅東停車場線の南東端を既存の交差点の位置に変更し、十字路とすることを検討するべきである。 都市緑化を優先するあまりバスロータリーをなくすべきではなく、バス利用者の利便性を重視すべきである。 ウォーカブルを実現するためには、駅から民有地（五叉路方面）へのアクセスを自動車を気にせず行えるようにすることを検討するべきである。 	<p>公共施設等の整備形態、配置方針、検討方法及び本市の取り組み姿勢等に関するご意見・ご要望・ご提言をいただいたものと考えます。</p> <p>今後南海貝塚駅周辺の整備等の進捗にあわせて実施する各種検討及び設計等の際には、これらのご意見等を参考にさせていただきます。</p>	原案どおり
	<ul style="list-style-type: none"> 貝塚駅周辺は、南海電車の影響で人や物の流れが悪化し、警察署の移転により治安も悪化する。 この問題を解決するためには、踏切を避けて東西をスムーズに結ぶ交通手段が必要である。 理想は線路を高架化することだが、それが難しい場合は線路下に新しい道路を作り、車椅子や自転車が通行できるようにすることが重要である。 これが駅周辺の開発の第一歩であり、実現しなければ駅周辺は衰退する。 		

	ご意見の概要（本市要約）	本市の考え方	対 応
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR の運行停止や遅延時に南海の貝塚駅へのアクセスが便利になるバス路線を要望する。これにより、両駅間の振り替え輸送が容易になり、通勤や通学時のリスクが軽減されると考える。また、東口に小型バイク（125CC）が止められる駐輪場の設置や、効率的で安全なアクセス道路の整備も必要である。なにわ筋線の開通後、大阪駅への利便性向上にもつながると思われる。 	<p>公共施設等の整備形態、配置方針、検討方法及び本市の取り組み姿勢等に関するご意見・ご要望・ご提言をいただいたものと考えます。 今後南海貝塚駅周辺の整備等の進捗にあわせて実施する各種検討及び設計等の際には、これらのご意見等を参考にさせていただきます。</p>	<p>原案どおり</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年末の説明会で、現状の把握と進行の難しさを実感した。地元の地域活動に参加しているが、駅周辺を元の状態に戻してほしい。昭和45年の計画が実現しなかった理由を解決しなければ、どんな計画も実現しないと考える。市が府や国と連携して進める必要があると思う。 ・ 地権者との話し合いの状況はどうなっているのか、都市開発の影響を受ける地権者の人数は何人いるのか。 ・ 地権者と駅周辺を活用している市民と分けて進めるべきである。 ・ 貝塚市はお役所仕事だと感じた、駅周辺を元に戻すために強いリーダーシップを発揮されたい。 		
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南海電鉄は貝塚市の取り組みに対してどう思っているのか、市の独りよがりな考えになっていないか気になる。 ・ 地方の駅前再開発が進んでいるが、賑わいや憩いの場として機能していない場所が多いと思われる。 ・ まちづくりの6つのテーマに沿った進行は難しいと思われるが、基本構想が良い方向に進むことを期待する。 		
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前ロータリー予定地のその周辺の地権者と開発デベロッパーが意見交流をする場を設けることにより、ロータリー部分とその周辺の開発が同時進行できる。 ・ 駅とは人や自動車が集まるところなので四方八方に分散できるようにするために、拡散性を考慮して水間鉄道と平行する山側道路を拡幅し、中央線までつながる道路を新設すべきである。その新設道路の整備に伴う用地買収には場合によっては協力する。 		
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 街づくりの必要性は理解するが、現状で生活が成り立っている市民のことについても重く考慮する必要がある。 ・ 道路整備については、使用されている道路や車両の種類、数量、歩行者の利用実態等交通量の調査が必要である。 ・ 安全に配慮した道路・街づくりのため、人や車両の動線・視野を妨げるものの排除等について検討が必要である。 ・ 貝塚駅から山手に向かう駅東停車場線の道路幅と接続先の道路（市道西町海塚麻生中線）幅に差があることと、南海貝塚駅から大阪方向に向かう道路が計画から落ちていることに疑問がある。 ・ 貝塚駅利用者は伸びていないと思われ、駅前東停車場線が今後爆発的に交通量が増えるとは考えられない。 ・ 貝塚高校の生徒のおおく利用する南海貝塚駅から和歌山方向への道路の拡幅を検討すべきである。 ・ 駅東停車場線は駅前に向かう一方通行が定着しており、歩行者の安全確保のため車両の速度減速調整が必要である。 ・ 子供や高齢者が安全に集まれる場所としての駅前広場緑地の整備は、万全の交通安全対策が必要である。 ・ 足の不自由な方が通行する経路は十分安全であること、非常時の通報ベルや救急用品の格納場所を設けるべきである。 ・ 南海線を高架化し、大阪側踏切を無くすと共に駅の東西のアクセスを改善するために、南海電鉄との交渉をされたい。 ・ 抑止効果が期待できる警察署が移転することで治安面で不安があるので、現在の貝塚駅西口交番を警察官が常駐する交番にすることを大阪府警本部と交渉されたい。 		
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民地元の方が集まっているので、自分の住んでいる町の良いところを教えてくださいと思った。 ・ 住んでいる人が、その町の良いところを生かすように、住民の町を愛する地域の良さに結びつくような表現の仕方になれば、市民の思いの必要性が増すと考える。 ・ まちづくりの基盤は防災と強く考える。あちらこちらで旧商店街の消火活動が出来ないことが課題となっており、地震を予測すれば急ぐ課題でもあるので、助け合いも繋がるようにしていきたい。（全市民の課題でもある） ・ 防災が組み込まれた場合、市民が周知できる仕組みを誰でも使いこなせるようにする等、伝えること事の難しさも大きな課題である。 ・ これについて市民と話し合う機会がたびたび必要であり、どうすれば参加に興味を持てるのだろうかと考えており、過度の負担にならないような形で駅前町づくりの発信もみえるような市民の力を思う。 ・ 貝塚市ならではの町色を出せるようになれば良いと思う。 ・ 暖かい町の景色や雰囲気が出れば人は寄り添ってくると考える。 ・ 施設整備の過程に市民が関わることは大切で大変なことだが、いろんな部門の関わる方、市民と共に前に進めていくことを願います。 		